

津波からの避難における留意事項

【危機管理室】

- 1 強い地震を感じたとき又は弱い地震であっても長い時間ゆっくりとした揺れを感じたときは、テレビやラジオなどで直ちに情報を入手するとともに、海拔5メートル以上の高台又は鉄筋コンクリート造若しくは鉄骨鉄筋コンクリート造の頑丈な建物の3階以上を目安に避難する。
- 2 津波発生の恐れがある場合、いち早く海岸や河口から離れることが基本だが、特に津波到達までの時間が短いと予測される場合は、「遠いところ」ではなく、「高いところ」へ避難することを心がける。
- 3 車を使用せずに速やかに避難する（ただし、自立歩行が困難な要援護者等が避難する場合、またはその他やむをえない事情がある場合を除く。）。
- 4 可能な限り、周囲に呼びかけながら避難をする。
- 5 津波注意報でも、海水浴や磯釣りは危険なので行わず、直ちに海岸や河川から離れ、近づかない。
- 6 津波の到達時間は、震源や地域によって差はあるが、数分で到達することがあることを理解しておくとともに、第一波到達後も、津波は繰り返し襲ってくるので、津波警報等解除まで気をゆるめない。